



『いなぶの小窓』

No.17 (H30.8.18)

8月17日(金)、夏休みの楽しい思い出づくりとして「夏休みキッズフェスティバル」が快晴の下稲武交流館周辺で開催され、多くの子ども達で賑わいました。

今年度は、稲武地区コミュニティ会議(青少年育成部会)とシルバー人材センター稲武支所との共同開催とし、シルバー人材センター稲武支所は「風鈴づくり」と「アニメ上映」を、コミュニティ青少年育成部会は「鮎の放流と魚つかみ」をそれぞれ実施しました。

特に、「鮎の放流と魚つかみ」では、名倉川漁協の格別なご支援により、名倉川への放流を体験し、水路に放された鮎つかみでは、子ども達の溢れる笑顔とキャーキャーと大きな歓声に包まれ、その後捕まえた鮎を塩焼きにして皆で美味しく食べることができました。

将来、子どもの頃の夏休みの素敵な思い出として、胸に刻まれたことと思います。

なお、今年は熱中症が心配されましたが、防災ラジオでの注意喚起や保護者の同伴依頼などが功を奏し、また中学生ボランティアなどのお蔭で大盛況に終わられました。「感謝!・・・」

【夏休みキッズフェスティバルの様子】



風鈴づくり



鮎の放流(上)と
魚つかみ(下)



「鮎の塩焼き」は、コミの部会員と
中学生ボランティアが大活躍!



とても美味しくいただきました・・・

